

「TAC の最短合格カリキュラム（速修本科生）」

※職種紹介・試験制度等については別途動画チャンネルがございますので、詳細はそちらをご覧ください。

受験プラン

公務員試験を目指す受験生は、1 年前後の学習期間を用意することが一般的になっています。この現状を踏まえると、短期学習で合格を目指すことは「無理だ」、あるいは「不利だ」と感じる方もいると思います。しかし、実際の受験生の学習スタイルを見てみると、意外なことに気が付きます。

（一般的な学習スタイル）

6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
1 日平均学習時間 2～3 時間					
12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	
1 日平均学習時間 10～11 時間					

公務員試験はよく「マラソン競争」に例えられます。マラソン競争では、「勝負は 35 km 地点から」といわれるように、最後のスパートで勝負が決まるものです。上記の学習期間をご覧になれば同様のことが公務員試験でも言えることがわかります。受験者の約半数を占める現役の大学生でも、学期末試験などのため、そのほとんどが 2 月以降に本腰を入れて勉強するのです。要するに最後の直前期（最後の 3 ケ月間）まではあまり勉強時間を確保できない方がほとんどなのです。また、長期間学習することはメリットもあれば、デメリットもあります。長期学習する場合、どうしても「記憶の保持・管理」にかかる時間が余計に必要になってきます。これに対して、短期学習の場合は、定着した学習内容を忘れないうちに受験時期を迎えるメリットがあります。公務員試験は、「学習期間」ではなく、「学習効率」という点に注目できれば、短期間の学習でも十分に合格を目指すことのできる試験なのです。

短期学習で合格するためのポイント

（1） 的を絞った学習・受験計画をたてる。

⇒ 試験種によって、試験日・出題内容・配点基準が異なる。

的を絞った学習

公務員試験に合格するためには、概ね 6 割前後の得点が必要だと言われています。それを効率よく実現するためには「メリハリ」のある学習が大切になってきます。出題される科目を均等に学習するのではなく、優先度に応じて学習の幅や深さを変えていきます。

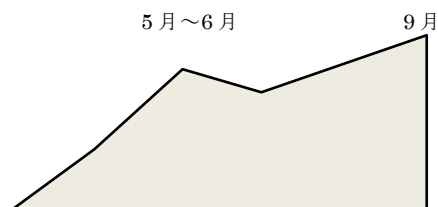
例えば、地方上級試験（関東型）の専門択一の中には、出題される科目数の 4 割（6 科目）の出題数で、解答に必要な問題数の 8 割以上を占めている試験もあります。このような試験では、重点的な科目だけを学習した方が効率良く成果を出せる場合もあるのです。

受験計画

公務員試験は概ね 5 月～9 月の間で 1 次試験を実施しますが、とりわけ大卒程度の試験に関しては、その多くが 5 月～6 月の期間で実施されます。しかし、中には 9 月の第 3 日曜に 1 次試験を実施する自治体も多数あり、目指す試験によっては残されている学習期間が異なってきます。

学習期間の確保が難しいと感じる受験生の中には、初めから秋の市役所試験に照準をあてて、春先に実施される試験をあきらめてしまう方もいます。しかし、近年は、公務員専願の受験生だけではなく、民間企業の就活をメインにしている学生層も取り込むために、試験制度を工夫する自治体も出るようになりました。

例えば、自治体の中には 4 月や 5 月の早い時期に「早期卒」などの区分で、学習負担を軽減した試験を実施するところも出ています。また、1 次試験で面接を実施し、ペーパーテストの比重を低く抑えている試験もあります。つまり、面接の対策をしっかり行えば、短期間の学習でも対応できる試験もあるのです。



したがって、受験の計画に関しては 5 月～6 月の時期を第 1 のピークとし、7 月や 9 月の市役所試験を第 2 のピークと考え、2 段階の受験計画を立てていくのが望ましいといえます。

(2) 効率的な学習方法を探る

インプット⇒アウトプットの学習スタイル

学習の効率は、その管理の方法によって大きく変化していきます。講義などを通して大まかな内容を短時間でインプットし、問題演習（アウトプット）を通して、細かい論点などを確認し、学習の「成果」と学習の「課題」とを仕分けていくのが理想的だといえます。

インプットについて

[教室講座]で受講する場合、学習のペースがつかみやすく、疑問点などもその場で直接講師に質問して解決できるため、苦手科目のインプットに向いているといえます。しかし、**[DVD 講座]**・**[DVD 通信講座]**・**[Web +DL 通信]**の場合、講義を倍速で聞くことが可能なため、時間効率がよいと考えることができます。

例えば、講義内容の聴き取りに問題のない範囲である 1.3 倍速で受講された場合、180 分の生講義を受講する場合に比べ、約 140 分で済ませることができます。1 講義につき約 40 分も時間を短縮できるのです。

教室講義と DVD・Web の両方のメリットを活かせるのが、**[教室+Web フォロー]**という受講スタイルになります。効率のよい短期学習を考えている方には、速修本科生**[教室+Web フォロー]**がお勧めです。



また、TAC ではすべての本科生に「**講義音声ダウンロードフォロー**」が標準装備されています。これは、講義の音声ファイルや講義録ファイルをパソコンにダウンロードできる制度です。携帯用音楽プレーヤーを使えば、通勤・通学などの立っている時間やコマ切れの時間を有効活用できます。特に、繰り返しインプットが必要な暗記系の科目に対しては、目と耳の両方を使った効率的な学習が可能になります。



アウトプットについて

TAC では、問題演習のためのツールとして、講義回ごとの論点を確認する「**ミニテスト**」、頻出度や難易度分析した過去問題集として「**V 問題集**」があります。また、成績表により自分の学習進捗状況が判断できるツールとして「**基本演習**」が基本講義科目に設定されています。さらに、直前期の総仕上げとして「**公開模試**」が用意されています。



カリキュラム

速修本科生A 全153回

(+) 本科生だけのお得な特典

オリエンテーション	1回	オリエンテーション 1回	
基本講義	85回	憲法 8回 民法 14回 行政法 10回 ミクロ経済学 11回 マクロ経済学 10回 財政学・経済政策 6回 政治学 7回 数的処理 16回 文章理解 3回	(+) ミニテスト ※数的処理と文章理解にミニテストは ございません。
基本演習	17回	憲法 2回 民法 2回 行政法 2回 ミクロ経済学 2回 マクロ経済学 2回 財政学・経済政策 1回 政治学 1回 数的処理 4回 文章理解 1回	(+) 成績処理
一般知識対策	32回	自然科学 15回 数学 3回／物理 3回／化学 3回／生物 3回／地学 3回 人文科学 17回 世界史 5回／日本史 5回／地理 4回／思想 2回／文学芸術 1回	※社会科学は基本講義の各 専門科目で学習いたします。
論文対策	3回	論文対策 3回	(+) 答案添削は何度でもOK
専門記述対策	3回	法律系 1回 経済系 1回 政治系 1回	(+) 答案添削は何度でもOK
公開模試	4回	公開模試 4回	(+) 本科生は受験無料
時事対策	7回	経済事情 3回 社会・労働事情 3回 国際事情 1回	
面接試験対策	5回 +α	【講義編】 面接対策講義 1回 官庁訪問対策講義 1回 【実践編】 模擬面接 1回+α 模擬集団面接 1回+α 模擬集団討論 1回+α	(+) 面接復元シート自由閲覧 (+) 模擬面接は何度でもOK (+) 面接カード添削

短期間で地方上級・国家一般職など、主要な公務員試験に幅広く対応できる速修本科生の中でも人気のコースです。教養試験と専門試験はもちろん、論文試験や面接試験の対策もインプット・アウトプット共にしっかりと行うことができる安心の短期学習専用コースです。

■このコースのここがポイント

- ◎ 専門科目は最重要科目に絞り、3～5ヶ月の学習期間で一気に合格レベルに到達できる。
- ◎ 地方上級や国家一般職（大卒）など、多くの公務員試験に幅広く対応できる！
- ◎ 論文対策や面接対策も含めた、総合的な受験対策が可能！

速修本科生B 全136回

(+) 本科生だけのお得な特典

オリエンテーション	1回	オリエンテーション 1回	
基本講義	85回	憲法 8回 民法 14回 行政法 10回 ミクロ経済学 11回 マクロ経済学 10回 財政学・経済政策 6回 政治学 7回 数的処理 16回 文章理解 3回	(+) ミニテスト ※ 数的処理と文章理解にミニテストは ございません。
一般知識対策	32回	自然科学 15回 数学 3回／物理 3回／化学 3回／生物 3回／地学 3回 人文科学 17回 世界史 5回／日本史 5回／地理 4回／思想 2回／文学芸術 1回	※ 社会科学は基本講義の各 専門科目で学習いたします。
論文対策	3回	論文対策 3回	(+) 答案添削は何度でもOK
専門記述対策	3回	法律系 1回 経済系 1回 政治系 1回	(+) 答案添削は何度でもOK
公開模試	4回	公開模試 4回	(+) 本科生は受験無料
時事対策	7回	経済事情 3回 社会・労働事情 3回 国際事情 1回	
面接試験対策	5回 +α	【講義編】 面接対策講義 1回 官庁訪問対策講義 1回 【実践編】 模擬面接 1回+α 模擬集団面接 1回+α 模擬集団討論 1回+α	(+) 面接復元シート自由閲覧 (+) 模擬面接は何度でもOK (+) 面接カード添削

速修本科生 A から「基本演習」を省いたリーズナブルなコースです。アウトプットは V 問題集を中心に行い、教養試験と専門試験はもちろん、論文試験や面接試験の対策もしっかりと行うことができます。

速修本科生C 全88回

(+) 本科生だけのお得な特典

オリエンテーション	1回	オリエンテーション 1回	
基本講義	19回	数的処理 16回 文章理解 3回	
基本演習	5回	数的処理 4回 文章理解 1回	(+) 成績処理
一般知識対策	49回	自然科学 15回 数学 3回／物理 3回／化学 3回／生物 3回／地学 3回 人文科学 17回 世界史 5回／日本史 5回／地理 4回／思想 2回／文学芸術 1回 社会科学 17回 法律 5回／政治 5回／経済 5回／社会 2回	
論文対策	3回	論文対策 3回	(+) 答案添削は何度でもOK
公開模試	1回	第4回公開模試 1回	(+) 本科生は受験無料
時事対策	7回	経済事情 3回 社会・労働事情 3回	国際事情 1回
面接試験対策	4回 +α	【講義編】 面接対策講義 1回	【実践編】 模擬面接 1回+α 模擬集団面接 1回+α 模擬集団討論 1回+α (+) 面接復元シート自由閲覧 (+) 模擬面接は何度でもOK (+) 面接カード添削

専門科目が出題されない市役所（教養型）や国立大学法人等をターゲットにした短期学習専用コースです。カリキュラムが教養試験対策に限定されているので、学習の負担が少なく済みます。また、論文対策や面接対策が含まれていますので、二次試験も含めた対策が可能です。社会人経験者採用試験の教養択一試験対策としても活用できます。

フォロー制度

通学 教室講座・DVD 講座向けのフォロー制度です。 **通信** Web + DL 通信講座向けのフォロー制度です。 **本** 本科生特典

【欠席・復習用のフォロー制度】

■ Web フォロー／講義音声 DL フォロー **通学** **本**

Web 講義をいつでも何度でも受講することができます。また、講義音声 DL フォローを使えば、教室講義の音声ファイル（WMA 形式）や講義録ファイル（PDF 形式）をインターネットからパソコンにダウンロードできる制度です。欠席時のフォロー用や復習用など、ご自身で使い方をカスタマイズできる安心のフォロー制度です。

※Web フォローが装備された通学講座の場合は無料でご利用いただけます。

※Web フォローが装備されていない通学講座に追加申込される場合は有料となります。

※講義音声 DL フォローは教室講座・DVD 講座に標準装備されています。

■ DVD フォロー **通学**

DVD に収録した教室講義を TAC の DVD ルームで見ることができるのが DVD フォローです。一度ご出席された講義でも、復習のためにご利用いただくことも可能です。講義レジュメと講義の板書をまとめた講義録もついでにきます。（有料：1 回 500 円）
※校舎間振替 OK

■ おっかけ DVD サービス **通学**

教室講座で開講日を過ぎてしまっても大丈夫。各校舎の DVD ブースで受講して、教室講座に追いついたところから教室講義に出席することもできます。

■ 校舎間振替受講制度 **通学**

学校や仕事の都合などで、ご登録のクラスにご出席できない場合は、手続き不要で他のクラス・校舎に振り替えて出席することができます。例えば、平日は大学や会社の近くの TAC で、休日は自宅の近くの TAC など、自由に振り替えることが可能です。

【質問・相談制度】

■ 質問コーナー **通学**

各科目の担当講師が個別に質問にお答えする質問コーナーを設けています。各科目のひととおりの学習を終えて復習をしている際に疑問が生じても TAC なら安心です。質問コーナーの日程は、各校舎の掲示板でご確認いただけます。

■ i-support インターネットフォローシステム **通信**

質問メール **本**

メールで学習内容や受験に関する質問をすることができます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。TAC の講師・受験アドバイザーが丁寧にお答えします。

※質問メールは、利用期限内に 50 回までとさせていただきます。

※Web フォロー生は、質問メールをご利用いただけません。通学講座の質問制度をご利用ください。

■ 教室参加型スクーリング **通信** **本**

受講期間中、教室講座の緊張感を体感することで気持ちが引き締まることはもちろん、同じ目標を持つ受講生と出会ったり、直接講師に質問したりと学習のモチベーションがアップすることは間違いありません。また、他の受講生のレベルを知るうえでも大いに威力を発揮するスクーリング制度をぜひご利用ください。【対象コース】通信スタイルの各種本科生 【回数】10 回
※お申込みいただいた本科生に含まれる講義に限ります。

■ 自習室・教室情報検索サイト **通学** **通信**

TAC では、講義の行われていない教室を自習室として無料で開放しています。定められた受講期限内であれば、どの受講スタイルの本科生でもご利用いただけます。また、TAC 直営校の講義実施教室や自習室は、携帯電話やパソコンで簡単に検索できます。

その他のカリキュラム・フォロー制度の詳細は、速修本科生パンフレット・ホームページでご確認ください。